



独立行政法人

国立病院機構盛岡医療センター

地域医療連携室だより



No. 42

(令和7年1月発行)



新年のごあいさつ

院長 木村 啓二

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より独立行政法人国立病院機構盛岡医療センターの運営につきまして、ご理解とご支援を賜り心より御礼申し上げます。

令和6年から7年にかけての年末年始は暦が良く、勤務医では9連休、ご開業の先生方でも6連休をゆっくり過ごせた方が多かったのではないのでしょうか。一方、今年度の冬はA型インフルエンザが大流行し、さらにCOVID-19もそれなりに蔓延しているため、年末年始の当番医の先生方や病院の救急外来は発熱者の対応に追われ、

大変ご苦労されたと伺っております。お疲れさまでした。

さて、昨年1年間の当院の変化ですが、2月下旬から電子カルテが稼働し、多職種の情報共有のための強力なツールとなっています。4月には放射線技師とMSW各1名が新たに着任しました。皆様から紹介頂いた患者さんに対してより良いチーム医療を提供できる体制が充実してきております。また、10月には機能的脳神経外科を専門とする西川泰正医師が岩手医大脳神経外科講座から赴任し、パーキンソン病などの不随意運動症に対する脳深部刺激療法や椎間板ヘルニアなどによる高度の神経痛に対する脊髄刺激療法、脳卒中や頭部外傷後の痙性麻痺に対するボツリヌス治療やバクロフェン療法が当院で開始されています。さらに、救急医療に関しては昨年と同じレベルで、令和6年度も救急患者数1,800人、救急車受け入れ台数1,100台程度が予想され、盛岡地区の救急医療体制の一翼を担うことが出来ています。

令和6年内に当院の10:1看護体制の急性期病棟（3F東病棟）を今回の診療報酬改定で新設された地域包括医療病棟に変更する計画を立てておりましたが、重症度、医療・看護必要度・在宅復帰率などの要件が厳しくなかなか達成できませんでした。しかし、12月末にようやく条件をクリアでき、本年2月から地域包括医療病棟を開設する予定です。病棟専属のリハビリスタッフ・管理栄養士を配置し、1年365日休まずリハビリテーションを提供して早期に自宅に退院させることを目指す病棟ですので、呼吸器・循環器内科・整形外科領域の救急患者さんがいらっしゃれば、是非当院の地域包括医療病棟の利用をご検討下さい。よろしく願いいたします。(次ページへ続く)

●病院理念● 生命を尊重し、地域の人々に安心・信頼される医療を提供する

- 基本方針●
 - ①安心・安全な医療を提供します。
 - ②病病連携・病診連携を通して地域医療に貢献します。
 - ③専門的な知識と技術、倫理観を備えた職員を育成します。
 - ④職員は互いに尊重・補完しあい、協働し良質な医療を提供します。
 - ⑤信頼される医療を提供するための経営の健全化を図ります。

今年も当院は通常医療（呼吸器内科・リウマチ内科・循環器内科・脳神経内科・整形外科・小児アレルギー・機能的脳神経外科・重症心身障害者ならびに一般障害者の長期療養など）において盛岡市医療圏（特に西北部）中心に病診連携、病病連携、病院・介護福祉連携を大切に、患者さんや地域から信頼され、求められる医療を提供する努力を継続してゆきたいと考えております。本年も皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



結核医療研修会5年ぶりの開催

管理課長 齊藤 晃

令和6年11月23日土曜日、ホテルメトロポリタン盛岡本館を会場に、令和6年度結核医療研修会を開催しました。

当院は、岩手県において結核医療の分野で中心的役割を担っており、これまで結核の早期発見と予防等に関する啓蒙活動として岩手県内及び青森県八戸地区・上十三地区の医療・介護・保健従事者を対象に、岩手県保健福祉部との共催で、定期（1年に1回）に結核医療研修会を開催してきました。

令和2年からは新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止を余儀なくされておりましたが、感染状況の収束を踏まえ、今回5年ぶりに開催しました。岩手県内はもとより、青森県、山形県、宮城県からの参加者もあり、当院関係者も含め総勢105名参加の研修会となりました。

木村院長の挨拶で始まり、「外国出生結核患者から日本人を含む結核集団感染に至った1事例」というテーマで、当院の只左内科医長が当院で受け入れた外国人留学生の症例発表を行いました。

続いて、岩手県保健福祉部医療政策室感染症担当の松村技師より「岩手県の結核の現状について」と題し、日本国内及び岩手県内の結核の発生状況と結核対策における保健所の役割について報告がありました。

その後、木村院長を座長として「結核～日常遭遇しうる二類感染症～」というテーマで、国立病院機構東京病院の佐々木結花副院長よりご講演いただきました。佐々木先生は呼吸器内科が専門で特に結核、非結核性抗酸菌症、肺真菌症に造詣が深く国内外で屈指の名医として知られ、臨床分野のみならず研究分野及び学会等多方面で活躍し多忙を極めていの中で盛岡に来ていただきました。講演資料は88ページにわたり結核を含む二類感染症に関するありとあらゆる情報について、きめ細やかに非常に分かりやすくご講演いただきました。

講演後は、佐々木先生に対して座長からの質問に加え4名の参加者からの質問があり、佐々木先生が丁寧に分かりやすく回答している姿が印象的でした。また、研修会終了後も、参加された医師のみならずまから個別に質問を受けられ最後まで引っ張りだこ状態でした。

今回の研修会のアンケートでは、「佐々木先生の講話が内容、配分ともに聴きやすく、且つわかりやすかった。」「3題とも近時の傾向がわかって良かった。」など多くの嬉しい声がありました。

また、会場については「狭い」、資料については「もう少し大きく見やすくしてほしい。」等の意見もありました。

本年6月頃から開催準備を進めてきましたが、5年ぶりの開催ということで至らない点もあり、参加者からの意見については次回開催時には改善出来ればと考えております。講演者の方々のご協力並びに共催者・後援者のご支援、さらには当院関係者のご協力により無事に研修会を終えることができました。大変ありがとうございました。



着任のご挨拶

脳神経外科 西川 泰正

2024年10月から盛岡医療センターに着任いたしました西川泰正と申します。

およそ15年間に渡り岩手医科大学脳神経外科外来医長、矢巾に移転後は内丸メディカルセンター脳神経外科部門代表の大役を仰せつかってきました。この度、長年お世話になった岩手医科大学を9月で退職し、盛岡医療センターに新たに脳神経外科を開設する運びとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私と盛岡医療センターとは実は古くからの縁があります。今から20年ほど前、当院がまだ国立療養所盛岡病院と名乗っていた頃に働いていたことがありました。今回20年ぶりに懐かしい故郷に戻る気持ちで戻ってきて真っ先に感じた事は、病院全体が近代化しており当時とは全く異なる病院に進化していたということでした。それでも当時一緒に働いていた紅顔可憐な？仲間達とたまに院内で再会するたびに、やはりここは我が故郷で間違いないのだなという不思議な感覚になります。



さて、この20年間で私が学んできたことは機能的脳神経外科という分野です。中でもニューロモデュレーション治療という分野を専門としてきました。ニューロモデュレーション治療とはパーキンソン病に代表される不随意運動症に対する脳深部刺激療法、脳卒中や頭部外傷後に生じた筋肉のつっぱり（痙性麻痺）に対するバクロフェンポンプ療法、耐えがたき神経痛に対する脊髄刺激療法などです。不随意運動症や痙縮は患者さん自身の日常生活の質を下げる要因となるばかりではなく、介護量の増加など介護者の負担増にもなっております。難治性神経痛もまた然りで、早期に改善（軽減）させなければ患者さんの精神的、肉体的負担を増加させ、より難治な状態に陥らせることが問題となっております。これらニューロモデュレーション治療全般を行うことができる病院は全国的に非常に少なく、岩手県内はもちろんのこと秋田県や青森県からも患者さんがいらっしやっております。症状の強弱は問いません。もし少しでもこれらの症状でお困りの方がいらっしやいましたら是非一度診察させていただきます。ご紹介お待ちしております。

また、当科ではこのニューロモデュレーション治療の他に、岩手医科大学や近隣の急性期病院、脳神経内科などとも連携を図りながら、主に急性期を脱し回復期にある患者さんの機能回復を目指したりハビリテーション治療も行っております。外来では頭痛やめまい、てんかん、頭をぶつけた患者さんの診察、上下肢の痙縮や顔面痙攣に対するボツリヌス治療も幅広く行っていますので、これ頭かな？と心配な時はどうぞお気軽にご相談ください。

私の信念は「笑顔は人を癒やす」です。今後は今まで培ってきた脳神経外科医としての知識と経験を活かし、皆様の笑顔を引き出すべく「明るく楽しく優しい脳神経外科医療」を提供してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



国立病院機構盛岡医療センター 診療担当医一覧表

令和7年1月1日現在

【外来診療受付時間】 月～金曜日：8:30～11:00（急患については随時対応）

【電話による予約受付時間】 月～金曜日：13:00～17:00 **専用電話：019-645-4564**

診察ご希望の方は、下記の曜日、時間等をご確認の上、ご予約ください。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
呼吸器内科／ 一般内科	午前	新患・再来	高原政利 山田博之	木村啓二 只左一也	高原政利 只左一也	山田博之 木村啓二	☆東北大学 呼吸器内科医師
	午後	新患・再来 (急患のみ)	高原政利	山田博之	只左一也	肥田親彦	高橋 信
循環器内科	午前	新患・再来	肥田親彦	高橋 信	高橋 信	肥田親彦	☆東北大学 循環器内科医師
	午後	新患・再来	—	—	—	—	【ペースメーカー外来】 肥田親彦 (第2・4週、14:00～15:00)
糖尿病内科	午前	新患・再来	—	—	☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師	—	—
	午後			☆岩手医科大学 糖尿病・代謝内科医師 (第2・4週)	—		
消化器内科	午前	新患・再来	☆工藤典重	☆穴倉かおり	—	—	☆仙台医療センター 消化器内科医師 (第2・4週)
脳神経内科	午後	新患・再来	村田隆彦	小原智子	小原智子	村田隆彦	【新患のみ】 (第2・4週)
リウマチ科	午前	新患・再来	千葉実行	千葉実行	千葉実行 ☆岩手医科大学 リウマチ・膠原病・ アレルギー内科医師 (第1・3・5週)	—	千葉実行 (最終週は休診)

※呼吸器内科・一般内科の午後外来は、新患・再来・予約外の急患について午後1時30分～3時30分の時間で診療を行います。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
整形外科	午前	新患・再来	大山素彦	大山素彦 (第2週は予約のみ)	【脊椎外来】 大山素彦 (紹介予約制) 午前9時～11時	本田剛久	本田剛久 (第1・2・3・5週)
			本田剛久	本田剛久 (第1・3・4・5週)			☆大竹高行
脳神経外科	午前	新患・再来	—	西川泰正 (第1・3・5週)	西川泰正	西川泰正	—

※整形外科の第2火曜日、第4金曜日は再来のみの受付になります。

診療科目	新・再別	月	火	水	木	金	
小児科 (消化器・アレルギー) 予約制	午前	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
	午後	新患・再来	佐々木美香	佐々木朋子	佐々木美香	—	—
			佐々木朋子	増本佳泰			

※小児科は消化器・アレルギー等の専門外来になります。

「☆」は、非常勤の先生です。

独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

岩手県盛岡市青山一丁目25番1号

病院代表 TEL 019-647-2195

FAX 019-646-1195

<https://morioka.hosp.go.jp/profession/index.html>

